



テーマ 2

これからの情報発信と 苦小牧に期待すること

市長

「とまレポ」に参加して感じたことや、それぞれの視点から現在の苦小牧の情報発信についてお話をいただきました。では次に、これからの情報発信や、苦小牧に期待することをお聞かせください。

松井さん

苦小牧の知名度を高めて、元気があ

るまちにするために、もっとインターネットを活用していくべきだと思います。先日の「コスプレフェスタ」では、苦小牧に初めて来る人たちが、たくさん集まったと思います。そんなイベントを機にやってきた人たちが、インターネットを使って苦小牧を発信してくれる事が、まちの知名度アップにつながりますよね。また、苦小牧のゆるキャラ「とまチョップ」の人氣がとても高いので、まちのPRのために、さまざまな形で使っていくと面白いですね。

松原さん

イベントで来た人が、住んでいる人では気づかない苦小牧の魅力を発見して、情報を広めてくれるかもしれませんよ。特にフェイスブックでは、きれいな写真や目を引く写真と一緒に情報を発信すると、たくさんの方が拡散してくれて、読者がどんどん増えていくと思います。とても大きな発信力がありますし、情報を受け取った人の反応もわかるので、これからもっと活用できると思いますね。



市長

苦小牧というまちのイメージを広げていきたいという思いで取り組んでいるのが、「コスプレフェスタ」のような、今までに無い種類のイベントです。市外から参加した人たちが、新しい視線で苦小牧を発信してくれることが、まちの新しいイメージ作りにつながっていきますからね。

杉野さん

これから高齢化社会が進めば、町内会活動でも近隣の地域とのつながりが大切になってきます。私も地域の活動に参加していますが、他の地域でどんなことをしているか、あまり伝わってこないのが現状です。お互いの地域の活動を、ホームページなどをうまく活用して、スムーズに情報共有できる環境があると、市全体としての結びつきが強くなりますね。



石川さん

市民一人ひとりのつながりも大切ですね。小さなことかもしれませんが、登下校している子どもにも声をかけをしたり、隣近所と関係を密にすることで、地域を守っていくお手伝い

市公式フェイスブック

平成25年3月に公式フェイスブックページを開設しました。フェイスブックは簡単な文章や写真を投稿できる手軽さが特徴で、若い世代で利用者が増えています。市では、「子育て・観光・危機管理」の3本柱を中心に、担当者の顔が見える情報発信を心がけています。フェイスブックにある「いいね」ボタンを押して、応援をよろしくお願いします。



FBIはこちらから



HPIはこちらから



この他にも、新聞の紙面を使いお知らせする「市役所だより」や、災害緊急時においては「防災ラジオ」や「エリアメール」などを活用しながら、市民の皆さんに向けて確かなまちの情報をお届けしていきます。